



第8期活動報告

(2023.12.01～2024.11.30)

NPO法人HA-HA-HA

Annual Report

2023



Certified



グッドガバナンス認証
2021G(0)0048



私たちは
自然に配慮した、
私たちに
継続可能な子ども支援
障がい者支援を
みんなが主体的に
意思表示する活動を
HA-HA-HAと楽しく行います

Top Message

ことばを大切に。

こころに届く言葉を

いつも子どものそばに。

ちかごろ言葉を大切にしないと．．．よくそう思います。
「厳しい指導」や「ことば遊び」という名で．．．いろんな
場面を見聞きします。

🐸LABには魅力的で、個性豊かな子どもが集まります。

そして感じ方や表現方法、「ひとそれぞれ」とみな言いま
すが、個性を認めたり、相手にどう伝わるか、こだわって伝
えている人は意外と少ない。

だからこそ子どもたちにはコミュニケーション力を身に着
ける支援を届けたいと考えています。それが生活力や経験を
積む力に繋がっていくと感じているからです。

今回の報告書では色んな丸で、個性豊かな子どもたちを表
現しています。

NPO法人HA-HA-HA 理事長



私たちは、時間的豊かさと職場の居心地の良さ、給与面での金銭的な豊
かさを大切にしています。

特に時間的豊かさは開業当初より残業が発生しないモデルを形成してき
ました。また職場の居心地の良さもどのようにすればよいか、オープンに
話し合うようにしています。最後に一番難しいところではありますが、給
与もできるだけアップできるように、運営体制を整えているところです。

HA-HA-HA の理念



地域の課題解決へ、
遊ぶように、真剣に取り組めます！

仕事が自分時間を圧迫しない！

古きを活用し、常に新しく、
常識に閉じこもらない！

HA-HA-HA の継続した働き方改革

- ・ 職員が豊かであることが支援の充実に繋がると考えています。
- ・ 多様な豊かさを目指しています。

第8期 平均残業時間（分）

在籍者の平均在籍日数

退職者の平均在籍日数



17.1分

約4.9年

約2.1年



（開設8年経過）

処遇改善加算の取得の推移（※職員の待遇改善に使用する必要のある給付費）

職員の給与改善のため、積極的に処遇改善加算等の給付を取得しています。



第8期

7,041,061円（↑）

第7期

6,428,720円（↑）

第6期

4,965,091円



個人・団体様（企業・法人・任意団体など）



ご支援いただける方、ご紹介ください!!!

私たちが必要な時に、必要なことを行うためには、たくさんの支援者と資金が必要です。支援が多ければ多いほど、私たちの声は、より多くの人々に届き、必要な変化を起こす力になります。

私たちは、自立した運営を目指し、障がい児・者が自分らしく生活できる社会の現実を目指しています。避けられがちな活動や変化を求める活動も、皆さんの支援があればこそ続けていけます。

どうか皆さんの思いを会員や寄附の形で託し、私たちの活動を支援をお願いします。皆さんのご支援が、私たちの力となり、社会に変革をもたらす一歩となります。



[入会等申込書]

[送付先]

・メールアドレス
npo_hahaha_nyukai@npo-hahaha.jp

・郵送先住所
〒514-0042 津市新町二丁目10-33

・FAX 059-229-1516



[ご寄附申請書]
お問い合わせください。
059-229-1515



ご寄附とプレゼントをいただきました!!

Amazon「みんなで応援」プログラム
ほしい物リストで笑顔をお届け

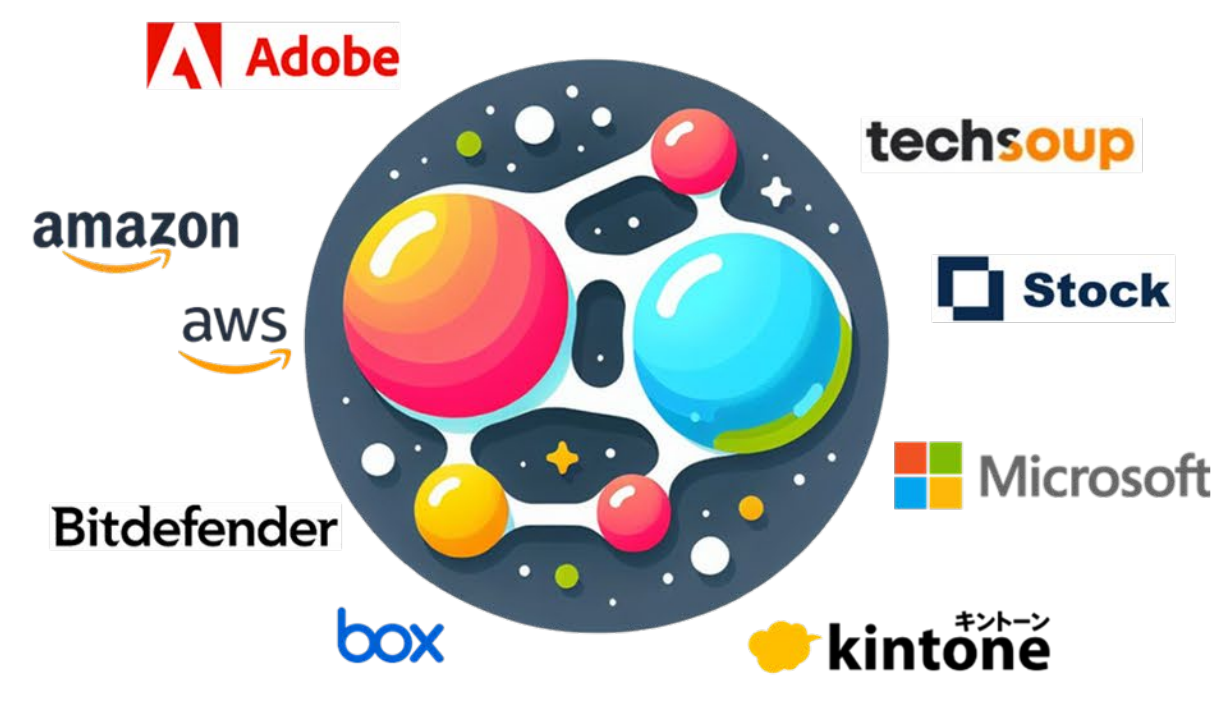


下QRコードからプレゼントをすることができます。非営利活動への支援にご興味ある方、共感をいただけた方などからプレゼントを贈る形でご支援いただいています。

HA-HA-HAに製品を託してくれた企業・団体さん

左の企業さんには、非営利活動団体向けに自社製品、特にIT製品やクラウドサービスを中心に無料やディスカウントの形でご提供いただいています。

非営利活動団体へのそういった配分を行っている世界的な団体がtechsoupであり、グッドガバナンス認証を受けたから、多くの支援を受けられるようになりました。



子LABの働きやすさ

残業時間は全体としては仕事のデザイン通り、短くなっており、仕事時間が自分を圧迫しないことはある程度実現できています。また創立8年で平均在籍4.9年と長く働ける状況かなと思います。しかし1年内の短期退職の方もおられ、改善項目になっています。



子LABの一步



長谷川社労士事務所さん、黒田公認会計士事務所さんのご指導から、認定NPO申請、働き方推進などに繋がりました。

また障がいのあるスタッフが長く働く職場であることもピアサポート体制整備に繋がりました。皆さんの協力もあり、スタッフみんなイキイキと頑張っています。



体験・親子イベント事業
講演・講習会事業



障がい児通所支援

こころほ
子 LAB
& Ch.2

相談支援事業

こふほ
子 LAB

障がい児相談支援
特定相談支援

學習支援・心理検査

まなろほ
学LAB

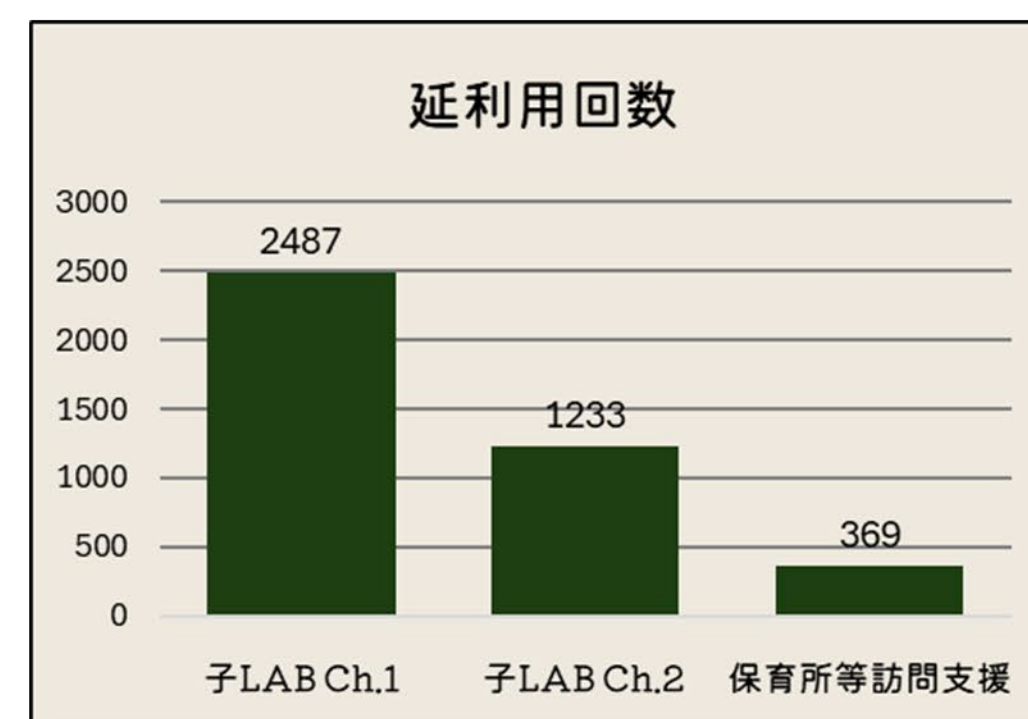
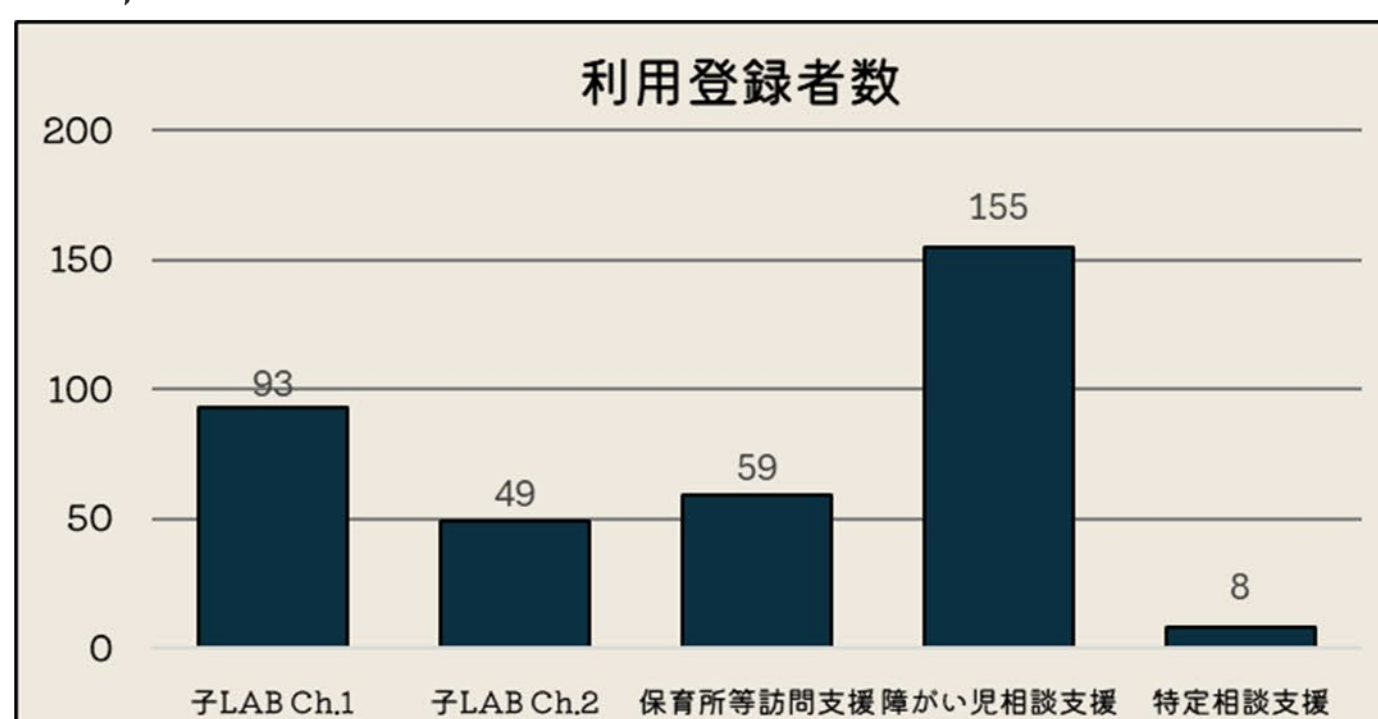
津市後援事業

ペアレント・プログラム

保護者支援

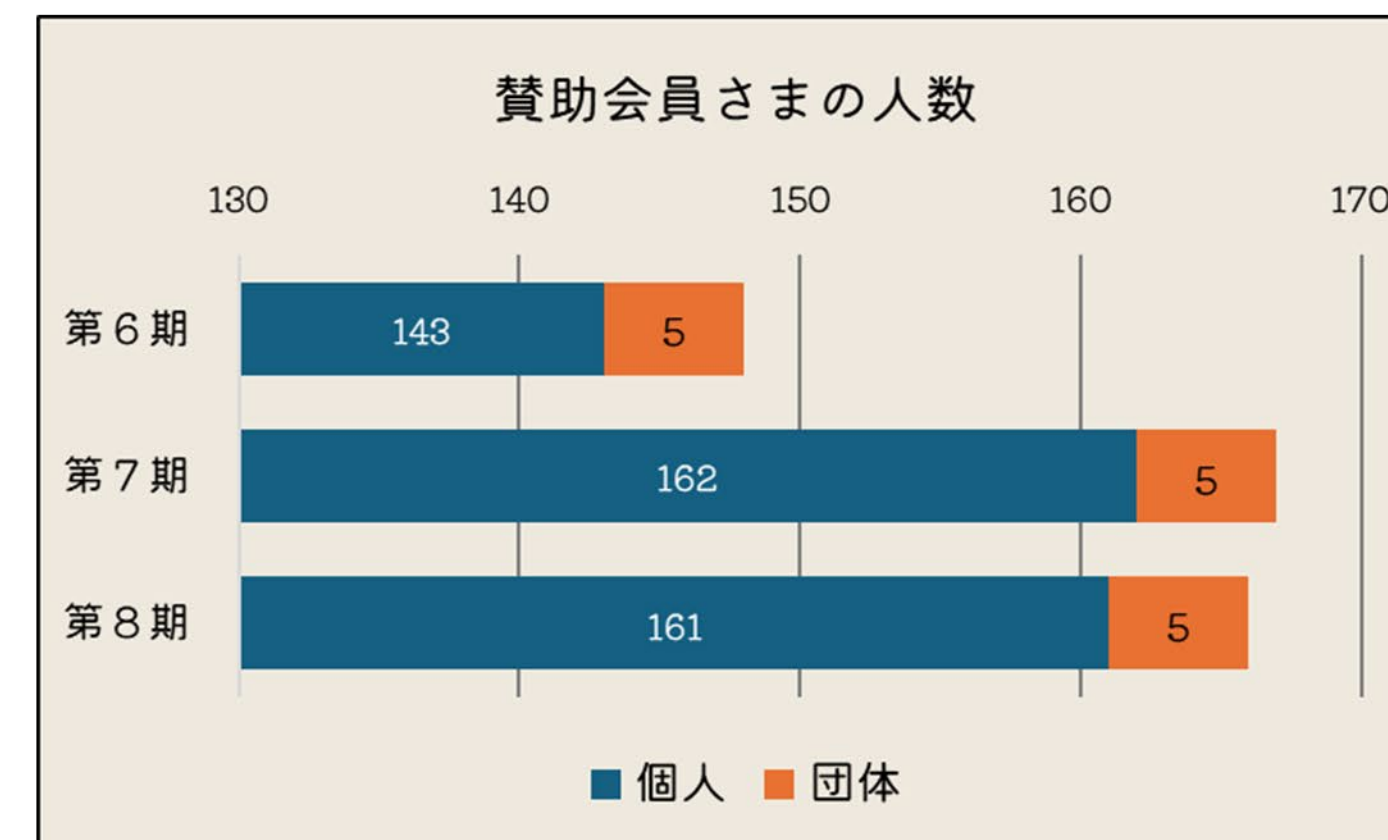
親おやうほLAB

子LABの利用状況



HA-HA-HAへのご支援

今期はご寄附 563,000円（賛助会員費含む）とプレゼント8件をいただきました。少しずつ認知度を上げ、共感を得て、ご支援いただけるよう、活動をブラッシュアップしています。



今期の個人賛助会員数はほぼ
変動がありません。これは事業
の基盤整備に充てた1年だった
ことでもあります。今後、認知
度向上に努めたいと思います。



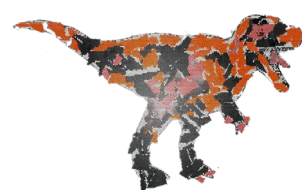
HA-HA-HAに託してくれた寄附者さん（企業・団体）

爪を科学する
ネイルズサイエンス

ヒロ・テクノサービス



Pediglass Technology®





イベントの開催

(田植え・稲刈り・ジャガイモ掘り・さつまいも掘り)

小田農園さんの協力のもと、毎年恒例のシリーズ『米』／シリーズ『芋』が開催できました。お米は特別栽培で毎年好評です!!

この企画は保護者が安心して、子どもが最後まで行動をやり切れる環境を目指して開催しています。成功にしろ・失敗にしろ、最後まで子どもの意思で結果を体験することこそ大切だと考えています。



相談支援事業所 子LABの状況

相談支援事業所の最大の課題は相談支援専門員の育成・増員と業務内容のスマート化です。

今期、相談支援専門員1名の育成を行い、今後に備える体制をとりつけました。来期にも計画を継続していき増員と支援能力の強化を図っているところであり、この辺りは進化しているところになります。

しかし非常に多岐にわたる業務の割に行政の報酬的な支援は少なく、加算も増加傾向ではありますが、まだまだ実情に合っているとは言えません。そのため自分たちなりに業務軽減をはかり、省力化しながら、増員や職場環境の改善をしていかなければなりません。

来期には省力化に向けたシステムの導入に向けて計画しており、有効活用できれば大きく省力化される部分が出てくるものと想定しています。



相談支援の利用者（保護者）の声

困っていることや悩んでいること、不安に思っていることなどを相談しながら子どもに合ったサポートをしてもらっています。

またいろんな角度からのアドバイスもいただけるので助かっています。

成長とともに分からないことも増えていくので今後も相談させてもらえることがとても心強いです。



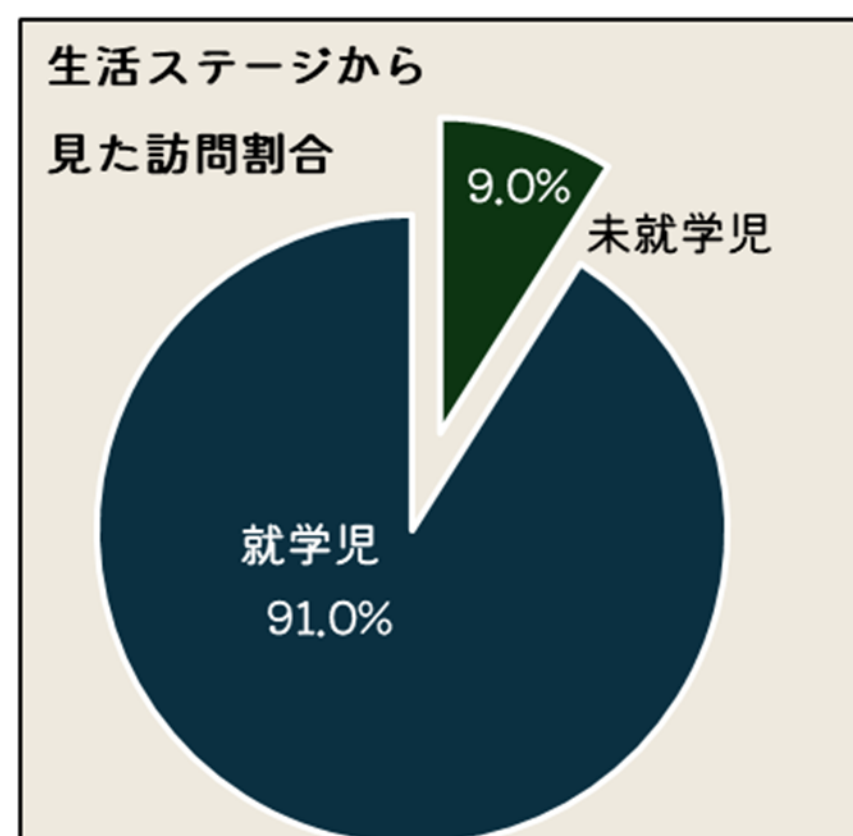


保育所等訪問支援の活用状況

私たちの訪問支援の特徴として、就学児への訪問割合が非常に高いことが挙げられます。

これはベテラン教員経験者が在籍したこと、多職種が在籍したことに加え、教育委員会や訪問先学校と丁寧に議論を重ねてきたことによります。

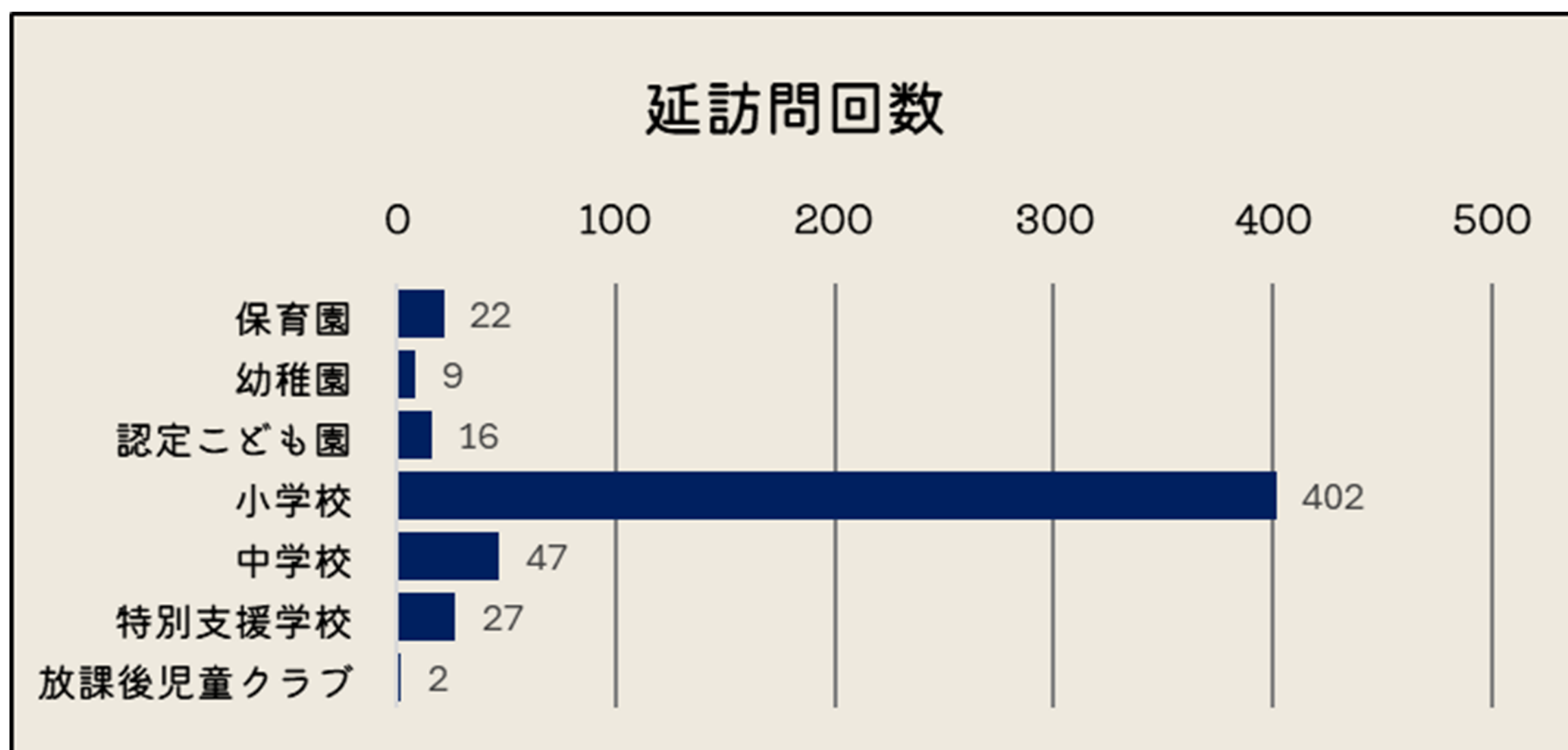
今後は訪問支援員の増員があれば、未就学児も増加していくことが想定されますが、全国的にも非常に珍しい傾向だろうと考えています。



下の図は延訪問回数を提示しています。圧倒的に小学校が多いことが見て取れますが、中学校、特別支援学校にもしっかりと訪問実績を作り、また放課後児童クラブへ訪問する等、厚生労働省が想定するほとんどの訪問先に訪問できている実績と言えます。

未就学児の支援では、保育所等訪問支援での支援の他、小学校への支援児情報の共有支援として、保育・指導要録のための発達評価シート（TASP）を活用した支援も行っております。

これらの行動と通所支援での担当者会議や相談支援での通園・通学先と保護者を交えたディスカッションにより、実りのある支援を行えるよう努めています。



HA-HA-HAは利用者と共に職員の豊かさも大切にしています。そのため職員の多様な豊かさを実現したいと考えています。

そのため多忙を極めた相談支援の働き方改革を進めるためDX化の基盤整備を行いました。そして今後は十分な費用対効果が得られ、支援の質を損なわず、省力化できる対策を実施していく予定です。

その計画には様々な副効果が含まれており、子LABの仕事のしやすさや子どもの支援の多様化対応、広報力の強化などにも繋がっていきます。

DX化という言葉も擦り切れそうなほど使い古された言葉となってしまいました。



これはなにも仕事に限ったことではありません。しかしITリテラシーが追い付かない大人も多く、子どもが安心してIT活用できる場所が不足し、使用を制限することでしか対応できない場合も多くみえています。

そのためHA-HA-HAでは職員の環境構築から基盤整備を行い、子どもも安心して使用できる環境を構築します。そのためベンダーとの連携を強化しています。

現時点ではデジタルに寄せているところがあります。しかしそれだけでは不足していると考えており、将来的には子どもの環境を三重の木や国産材、自然を活用したもの、就業を意識したものも連動して聞く計画です。



HA-HA-HAの3か年計画

子どもが使える
ネット環境配備

法人運営の
基盤強化

職員の働きやすさ
待遇向上

相談支援の
働き方改革

訪問支援の
再整備

広報強化と新たな
支援者層の獲得

子どものネット
環境基盤整備
DX化への連携強化
法人運営の安定化
支援継続の安定化

三重の木・国産材
での遊び場づくり
就業を目指した

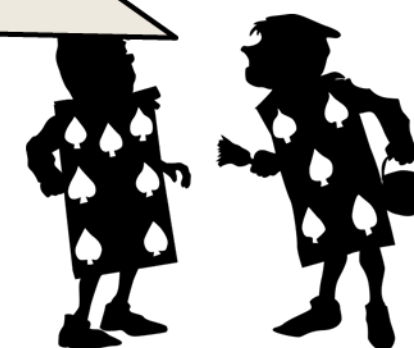
遊び場の構築
相談支援の
分業・多機能化

第10期

第9期

第8期

子LABがHA-HA-HAと笑いなが
らこんな計画してるらしいよ!!



子LAB利用者（保護者）の声

『中学生男子のお母さんより』

幼稚園時から支援は放デイと訪問を利用します。訪問では学校の様子から学校の先生と支援について相談してもらい、個別懇談も丁寧にしてもらっています。

不安・心配事を子LABと一緒に取り組めるので、母としては子LAB、学校、家庭で安心して支援ができています。子どもも楽しく通所しています。

失敗しても、自分の力で何でもしてみよう、挑戦することができるようになってほしいと思っています。先生方にサポートしてもらってすごく成長しました。

これからもよろしくお願いします。



『高校生男子のお母さんより』



親子共々にとって、子LABさんはとても心強いです。こちらが気が付かないこと、不安なこと等があると、まず利用者である本人に直接話をしていただき、親子に向き合ってくれます。

利用させていただいて感じる事が3つあります。『とても丁寧に接してくれます』・『自分で決める機会を提供してくれます』・『本人がやりたいことが出来る場所です』

また保育所等訪問支援は利用まで知りませんでした。利用できて、本人にとって学校生活が過ごしやすい時間となったことは間違いありません。

少子化ではありますが、私達のように不安に思われて過ごして見える方が沢山いると思います。今後、まだまだ支援は必要となってくると思います。親子にとっていつも頼れる存在でいてもらえると助かります。



子LABの保護者支援

子LABでは様々な保護者支援を行っています。

そのベースは利用者との定期的な面談であり、悩み事だけではなく、必要があれば立ち入ったことを聞くこともあります。

また相談支援事業が併設されており、通所と相談を併用している場合には多角的に情報収集がなされ、子どもの状況と併せて、必要な支援を選択します。

『気楽な保護者へ』～ペアレント・プログラムの活用

子どもの「できない」を知っても、
できるのスタート地点「できている」は分かりません。

子どものスタート地点を支援者や他の保護者と一緒に気付くことで、
とても『こころ』が軽くなり、気楽な保護者になってもらいたいと思っています。



(津市後援事業)

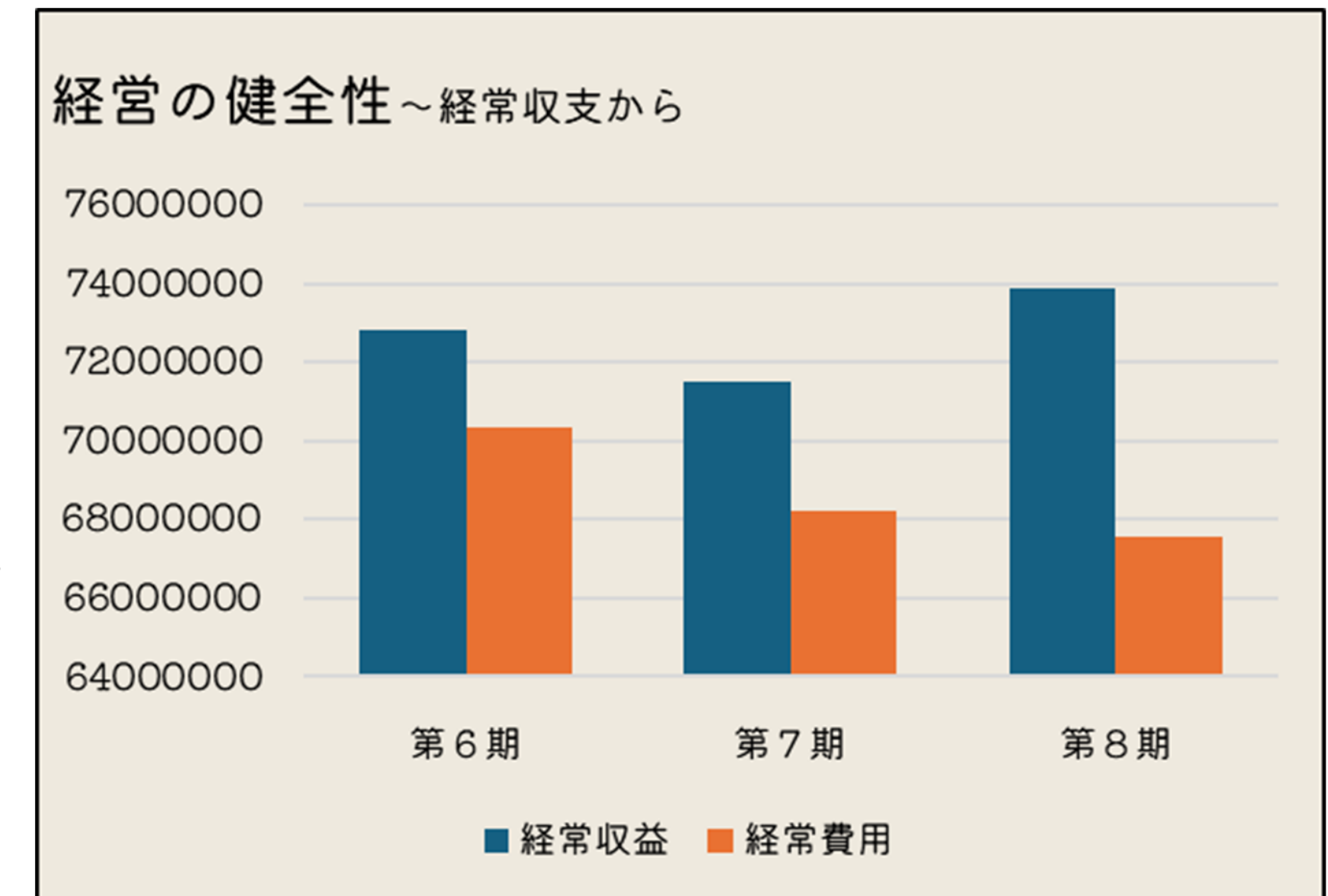
ペアレント・プログラム

ペアレント・プログラムは厚生労働省が推奨する、保護者の抑うつ度の低減、養育環境の向上というエビデンスを有する支援です。年2回、隔週全6回、6名定員のプログラムです。また施設内外からプログラムを実施する支援者の育成しています。
毎回抽選となっており、好評をいただいております。



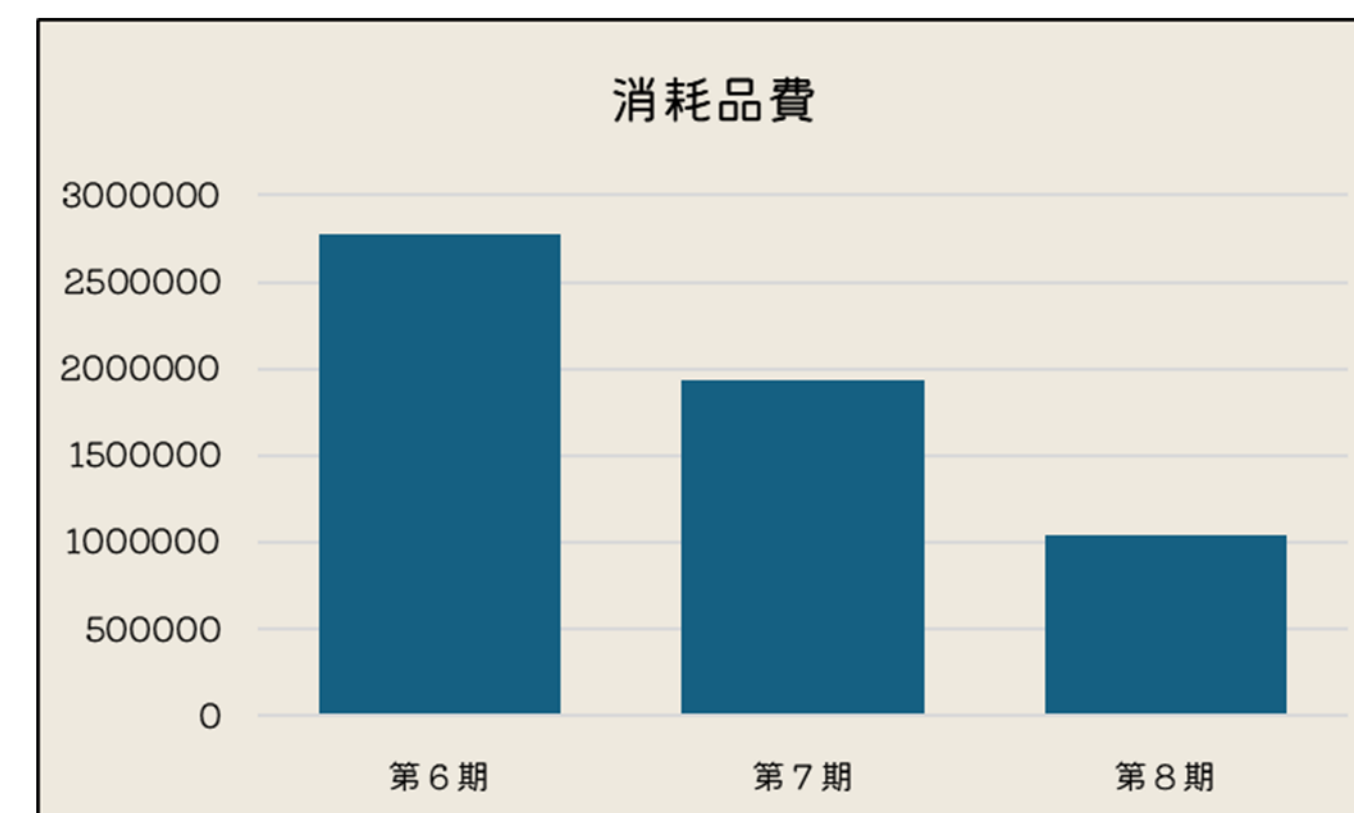
子LABの経営の健全性

コロナ禍にかなりの影響を受けましたが、費用の削減を積極的に行ってきた結果もあり、何とかプラス経営できてきました。第8期については第1四半期には、多様な感染症が子どもの間で流行したことを受け大きく利用が減少しました。それ以降には職員の努力もあり、利用が安定し、運営自体も落ち着いていきました。



利用調整による利用の安定化が大きなプラス要因ですが、消耗品費など大きく削減を行っております。

ペーパーレスなど基礎的な部分もIT活用により進んできており、少しずつ基盤が新たなものへと置き換わりながら、事業自体が進化していると思っています。



一方で民間助成金の活用などが多忙で申請自体が行えておらず、それらを活用を進めていく必要を感じています。
そのため目的を持った情報収集から行い、申請を積極化していきます。



定期的な個別懇談

丁寧な個別懇談を心がけています。

子LABでは半年に1回、要望や子どもの状況により回数を増やして保護者さんとお話しする機会を設けさせていただいています。

本人の意思を保護者に知ってもらう機会、支援にいきわたらせる機会として、懇談には利用児本人が参加可能であれば参加することも積極的に行っています。

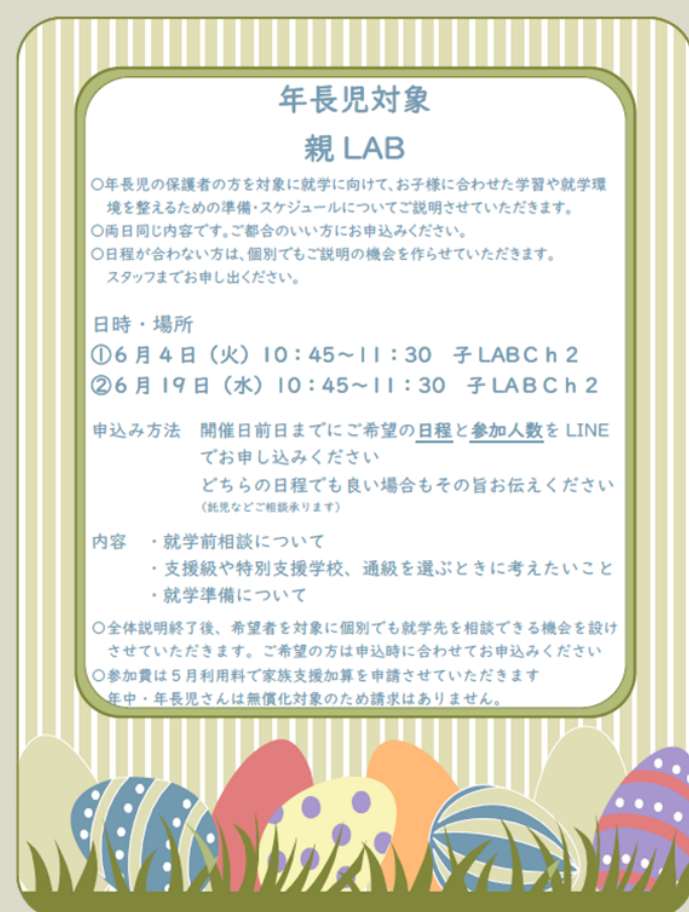
子LABでは同じ目線での保護者との関係性作りをしています。言いづらい話題でも保護者からも、支援者からも積極的に、前向きに話す機会にしています。



親LAB テーマ別懇談会 & 茶話会

地域の茶菓子とともに保護者さんと一緒に一つの話題について情報提供したり、茶話会として、保護者さん同士でいろんな話をしてもらったり、支援者である私たちを知ってもらう機会にしてもらっています。

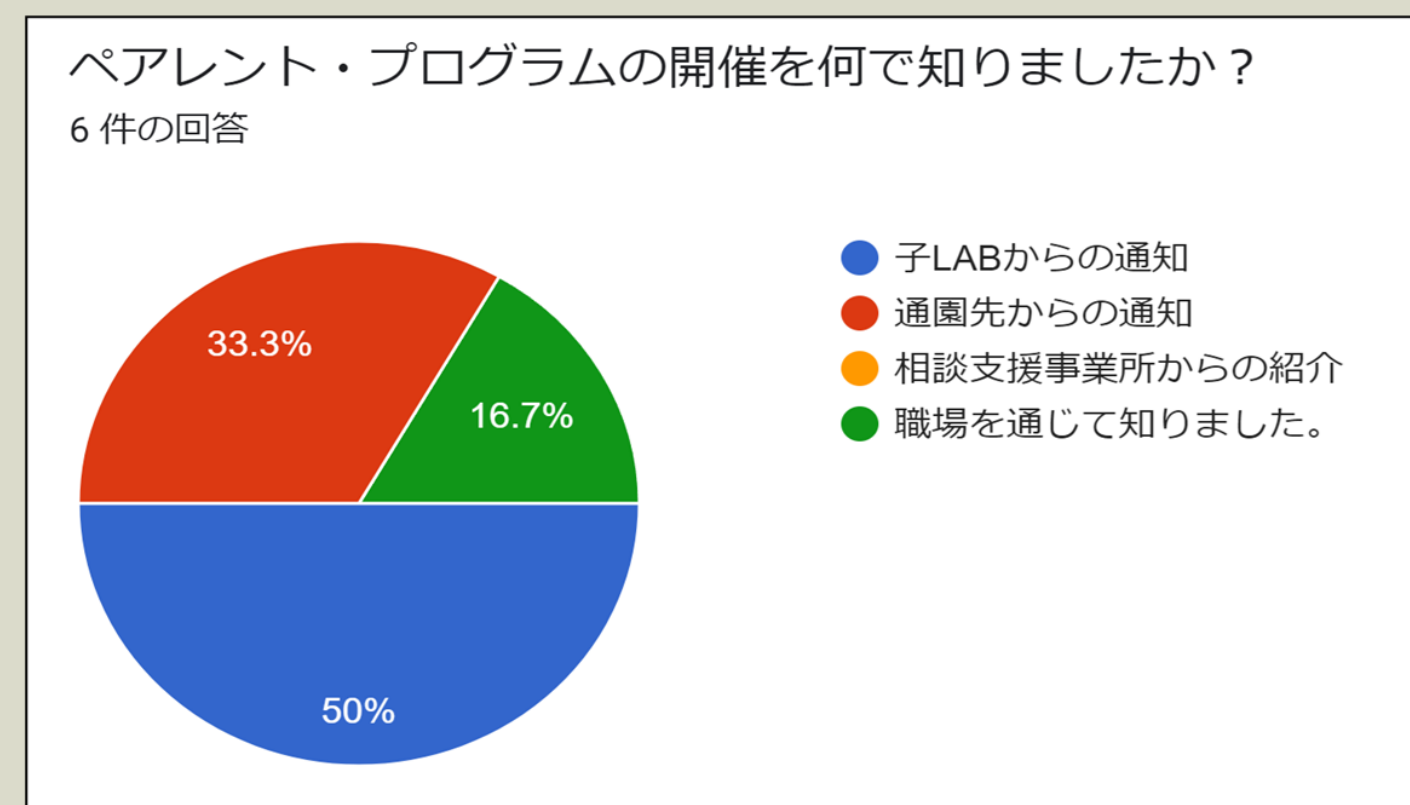
コロナ禍は開催できず、少しずつテーマを増やしていきたいところでしたが、中断が入ってしまってから、現時点ではこの二つを開催するに留まっています。



ペアレント・プログラムの感想でもあったように、保護者さん同士が繋がったり、支援者と話しやすい環境を提供して、今後に繋げていく大切さは痛感しています。

少しでも環境を整えていければと思います。

ペアレント・プログラムアンケート結果



津市の協力により、市内の保育園でチラシを配布していただいていることから、通園先からの応募が多くなってきていることが分かります。今後も多くの方にご参加いただける体制を採っていきます。

アンケート結果（参加6名の平均値）は好評を得たようで、大変うれしいです。

ペアレント・プログラム（以後、ペア・プロ）の特徴的効果で抑うつ度の軽減などいい点が結果から見て取れます。

他の特徴はペア・プロに参加して、「子育ての視点が定まったと思いますか？」と「ペア・プロ参加して、子育てに定着しそうに感じますか？」の2点が他と比べるとやや低くなっている点です。

考え方の癖などで、その定着しやすさは変わり、複数回のペア・プロ参加も可能です。そして考え方が戻ってきたと感じられたら、振り返り可能なプログラムであることもペア・プロ特徴となっています。

保護者の気が楽になり、子どもも過ごしやすくなりそうな結果となりました。



ペアレント・プログラムの開催 (津市後援事業)

自分のこと、
子育ての
ことなど見直す、
見返す良い経験だった
と思います。

子どもに対して
すぐ褒める癖がついま
した。小さなこと
でもできていることがあれ
ば褒めるようにしています。また、
職場での子どもに対しても寛容になれて
います。困った事があった時には、できな
い事ばかりに目を向けるのではなく、でき
ているところに目を向けることで自分も
子どもも精神的にストレスを減らすこ
とができること知ることができました。



他のお母さん
との交流が
楽しく刺激になり
ました。

最後は少し難しく
感じた。

同じ悩みをもつママ同士
でコミュニティを広げられればいいの
にな…とも思った。自分を見つめ直す
とてもいい機会になった。私生活にしっ
かり取り入れていきたいと思った。

参加したことで自
分と子供のことが可視化
でき、自分も子供も
思ってたよりちゃんと毎日
頑張ってるし、しっかり成長し
てるんだなあと思えました。ペアでの話し
合いも自分にはない考えや視点が見ること
ができ、興味深かったです。6回すべて楽
しくて面白かったです。
ありがとうございました。

今回参加することができ
て、本当に良かったです。毎
回優しくお導きいただいたおかげ
で、安心して参加することがで
きました。ありがとうございました。
今までは自分にも夫にも子どもにも厳し
かったなと思いました。みんな頑張ってる！
という視点で、以前よりも肩の力を抜いて、
感謝の気持ちやリスペクトの気持ちをもって
一緒に過ごしていきたいです。
また行動に注目し、その行動が起こりやすい状況を見ること
で、実は困っていないときや、できているときもあることに目
を向けることで、イライラや不安が減るので、これからも忘れ
ずにしていきたいと思います。贅沢を言いますと、このよう
な学びの機会が他にもいくつかあると嬉しいです。

